

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部  
アウトリーチ活動報告書2023



# INDEX

---

■ 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて	2
■ 名大カフェ “Science , and Me”	3
■ 名大研究フロントライン（ポッドキャスト&note、研究紹介動画）	6
■ あいちサイエンスフェスティバル（ASF）2023 サイエンストーク	9
■ ASF2023 その他、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業	11
■ 名古屋大学オープンレクチャー 2024	13
■ 松坂屋小学校 キッズサイエンス@サカエ	15
■ 名古屋大学 × 松坂屋名古屋店 包括連携コラム「みらいメッセージ」	16
■ Tongali	17
■ 国際産学連携セミナー、シンポジウム等、展示会への出展実績	21

## 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部では、本学の研究成果発信と市民との対話を目的としたアウトリーチ活動を実施しています。本学では多くの部局・部署が公開講座や講演会等を実施していますが、学術研究・産学官連携推進本部では、部局を横断した研究の成果発信や、地域の諸機関、企業との連携に力を入れています。

今年度も、イベント開催やオンラインプラットフォームを通じて、本学の研究活動・成果の発信に取り組みました。その中で、新たに開始した枠組みを2つご紹介します。

1つ目は、対面形式での「名大カフェ」の復活です。以前は街中の書店やイベントスペースなどで開催していた「名大カフェ」を、コロナ禍によりオンライン開催に切り替えて丸3年が経ちました。今では全国各地から多くの方に参加いただけるコンテンツとして定着しましたが、一方で、ゲストと参加者が顔を合わせて対話する少人数対面イベントのライブ感も捨てがたい思いがありました。そこで、コロナ禍が明けた今を復活のチャンスと捉え、新たな趣向で復活させました。会場の本学イベントスペースには、毎回、高校生から社会人まで幅広い年代の参加者が集まります。オンライン版と対面版の「名大カフェ」が、それぞれの良さを活かして育ってくれることを期待しています。

もう1つの新しい枠組みは、プレスリリースと連動したインタビュー記事の公開です。プレスリリースでは伝わりにくい研究者の想いや研究の裏側などを取材し、一般読者向けに平易な文章で紹介しています。人気のオンラインプラットフォームを利用しているため、普段は本学と接点がない読者からも多くの反応を得ることができ、研究者からも好評です。

これからも多くの方に本学の研究活動に関心をもっていただけるよう、永年継続している「あいちサイエンスフェスティバル」や「名古屋大学オープンレクチャー」なども含めて、新たな視点を取り入れながら活動していきたいと思えます。

今後も研究成果の発信と社会対話を通じて、学術研究の発展と産学官連携推進に取り組んでまいります。

2024年3月



名古屋大学副総長／  
学術研究・産学官連携推進本部長  
佐宗章弘



## 第92回「歩く門には福来たる」(オンライン)

2023年4月20日(木) 19:00～20:15

ゲスト：飯島 弘貴 (名古屋大学高等研究院/大学院医学系研究科 YLC 特任助教)

方法：オンライン (Zoom ウェビナー)

主催：Common-S. サカエ大学 (運営：松坂屋名古屋店)

協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

運動は健康によいだけでなく、若返りの効果もある？理学療法士の経験を持つゲストが、リハビリ分野の最新研究を紹介しました。どんな運動をどのくらい行なうのがいいのか、運動を実践する上での基本知識も学びました。



## 第93回「深海9801m、岩石学者が本当に欲しかったもの」

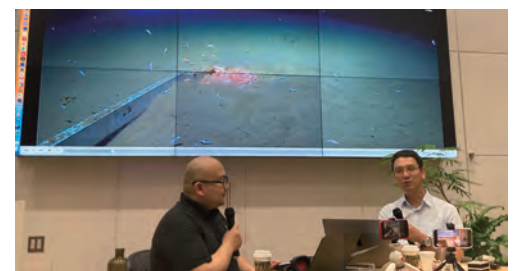
2023年5月30日(火) 18:00～19:30

ゲスト：道林 克禎 (名古屋大学大学院環境学研究科 教授)

会場：名古屋大学 NIC 館1階 Idea Stoa

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

日本人の潜航記録を更新したゲストが、深海で体験した世界の魅力を語りました。最新の観測機器を駆使して撮影した深海映像に、会場は釘付けとなりました。潜水艇でのハプニング話には、誰もが息を呑みました。



## 第94回「異次元の子育て会議」(オンライン)

2023年6月22日(木) 19:00～20:15

ゲスト：野々山 友 (名古屋大学大学院医学系研究科 助教)

方法：オンライン (Zoom ウェビナー)

主催：Common-S. サカエ大学 (運営：松坂屋名古屋店)

協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

子育ての課題が山積する現代。みんなが子育てに向き合う社会を築くにはどうしたらよいか。乳児院を中心としたケアプログラムに携わるゲストといっしょに考えました。さまざまな立場の方が活発に意見交換する場となりました。



## 第95回「法学研究者が裁判ドラマをつくるワケ」

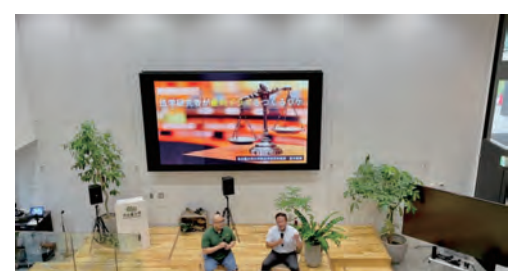
2023年7月28日(金) 18:00～19:30

ゲスト：宮木 康博 (名古屋大学大学院法学研究科 教授)

会場：名古屋大学 NIC 館1階 Idea Stoa

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

弁護士と検察になりきって、実際の裁判を模擬体験！裁判ってどんな風に行われるの？という切り口から、裁判員制度の課題などを参加者と共に議論しました。



名大研究者をゲストに、研究にまつわる話題をお届けするイベントです。  
 オンラインまたはオンサイト（@名古屋大学）で開催しています。オンラインの回は、松坂屋名古屋店との連携企画です。



## 第 96 回「レーザーの新たなミッション 宇宙ゴミを大気圏再突入させよ」

2023 年 9 月 25 日（月）18:00～19:30  
 ゲスト：佐宗 章弘（名古屋大学大学院工学研究科 教授・副総長）  
 会場：名古屋大学 NIC 館 1 階 Idea Stoa  
 共催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部、日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同フロンティア人工物分科会

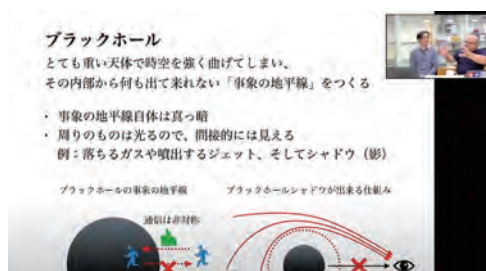
人類の平和を脅かす宇宙ゴミ問題に、レーザーで切り込む産学連携研究を紹介。宇宙ゴミを「取りに行く」常識が、「減速させて大気圏に落とす」未来にシフトするか、幅広い年齢層が熱い議論に参加しました。



## 第 97 回「ブラックホールの中身のはなし」（オンライン）

2023 年 10 月 31 日（火）19:00～20:15  
 ゲスト：宮地 真路（名古屋大学高等研究院 / 大学院理学研究科 YLC 特任助教）  
 方法：オンライン（Zoom ウェビナー）  
 主催：Common-S. サカエ大学（運営：松坂屋名古屋店）  
 協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

ブラックホールの基本から最新知見まで、広く学びました。謎に満ちた「ブラックホールの中身」について、提唱されている仮説や、どこまでわかっているかも紹介。参加者と「謎」を楽しむ時間となりました。



## 第 98 回「GO - 極寒北極の夜空、飛び立つオーロラ観測ロケット-」

2023 年 12 月 4 日（月）18:00～19:30  
 ゲスト：三好 由純（名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授）  
 会場：名古屋大学 NIC 館 1 階 Idea Stoa  
 主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

オーロラにロケットを打ち上げ、詳しく観測することで、宇宙と地球のつながりを理解する研究プロジェクトについて、画像や映像を通じて学びました。打ち上げ成功の感動を会場全体で追体験し、目にも美しいイベントとなりました。

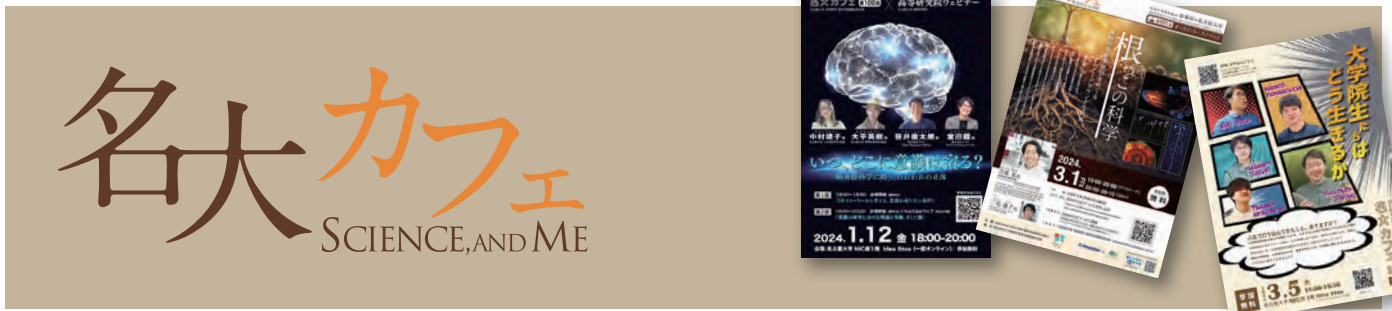


## 第 99 回「楔形文字に触れる」（オンライン）

2023 年 12 月 15 日（金）19:00～20:15  
 ゲスト：伊藤 早苗（名古屋大学高等研究院 / 大学院人文学研究科 YLC 特任助教）  
 方法：オンライン（Zoom ウェビナー）  
 主催：Common-S. サカエ大学（運営：松坂屋名古屋店）  
 協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

実は日本語に似た要素を多く持つ楔形文字。実際に読んだり書いたりしながら、古代メソポタミアの楔形文字文化について学びました。美しい文字を研究するには、地道で根気のいる作業が行われていることを知る機会にもなりました。





## 名大カフェ第 100 回 × 高等研究院ウェビナー「いつ、どこに意識は宿る？ 脳神経科学に問う、われわれの正体」

2024 年 1 月 12 日 (金) 18:00 ~ 20:00

ゲスト：大平 英樹 (名古屋大学大学院情報学研究科 教授)、中村 靖子 (名古屋大学大学院人文学研究科 教授)、笹井 俊太郎 (株式会社アラヤ Chief Research Officer)、宮田 龍 (株式会社アラヤ サイエンスコミュニケーター)

会場：名古屋大学 NIC 館 1 階 Idea Stoa (一部オンライン)

共催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部、  
名古屋大学 高等研究院



ブレインマシンインターフェイスを開発する脳科学者、情報学者、人文学者、科学コミュニケーターが、「意識」について議論しました。特に、「意識を読み取る」ことを目指す最新研究には大きな関心が集まりました。

## 第 101 回「根っこの科学 ~植物の栄養素獲得をめぐるアンダーグラウンドな世界~」(オンライン)

2024 年 3 月 1 日 (金) 19:00 ~ 20:15

ゲスト：吉成 晃 (名古屋大学高等研究院 / トランスフォーマティブ生命分子研究所 YLC 特任助教)

方法：オンライン (Zoom ウェビナー)

主催：Common-S. サカエ大学 (運営：松坂屋名古屋店)

協力：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部



植物の根が栄養を吸収する巧みな仕組みについて学びました。顕微鏡観察の映像では、研究の裏側も垣間見ることができました。植物科学に興味ある人からも、ガーデニングや農業を実践する人からも、熱のこもった質問が飛び交いました。

## 第 102 回「大学院生たちはどう生きるか」

2024 年 3 月 5 日 (火) 18:00 ~ 19:30

ゲスト：須賀 永帰 (名古屋大学大学院環境学研究科 博士 3 年)、  
榎 晋太郎 (名古屋大学大学院生命農学研究科 修士 2 年)、  
西山 尚来 (名古屋大学大学院理学研究科 博士 2 年)、  
鈴木 華実 (名古屋大学大学院生命農学研究科 博士 3 年)、  
山ノ内 勇斗 (名古屋大学大学院理学研究科 修士 2 年)

会場：名古屋大学 NIC 館 1 階 Idea Stoa

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部、  
名古屋大学 博士課程教育推進機構



名大大学院生 5 名をゲストに、研究やキャリア、人生について、会場と共ににぎやかに語り合いました。輝いている瞬間もあれば、落ちこむ時もある、人生の波を乗り越えながら自分らしく生きたいね！という前向きな空気に包まれました。

# 名大研究フロントライン (ポッドキャスト&note、研究紹介動画)



制作：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

\*「素粒子宇宙円卓会議」は KMISCT とのコラボ企画

タイトル	紹介した研究者（名古屋大学）	配信日
立方体の枠をシャボン液に入れて、宇宙の謎を読み解いてみた	KMI SCT 3/26 開催イベントレポート*昨年度未掲載分	2023/3/31
素粒子宇宙円卓会議 #8   ヒッグス粒子を見つけた男の飽くなき探究心	吉原 圭亮(素粒子宇宙起源研究所 特任准教授)、KMI SCT	2023/4/7
宮武さん、「HSC 国際チームが宇宙の標準理論検証」って何がすごいんですか！?	宮武 広直(素粒子宇宙起源研究所 准教授)	2023/4/12
形だけじゃない!! 金属 3Dプリンターで、“もっと強い”材料開発に成功	高田 尚記(工学研究科 准教授)	2023/4/18
月替りサイエンス食堂、はじまります	松井 瀬奈(理学研究科 博士後期課程)、名古屋大学学生アウトリーチ研究会(仮)	2023/4/21
繁殖成功に必要なのは、交尾中の〇〇をキープすることだった	山ノ内 勇斗(理学研究科 博士前期課程)	2023/5/2
ついに解説!! 花のタネをつくる 16 文字の暗号	笠原 竜四郎(生物機能開発利用研究センター 特任准教授)	2023/5/9
ミクロの仕組み、AI でアプローチ —多結晶材料情報学の幕開け—	宇佐美 徳隆(工学研究科 教授)、工藤 博章(情報学研究科 准教授)	2023/5/25
「昔はいたんだけどね」っていいくないから…。今伝えたい海の「光」とは？	別所 - 上原 学(高等研究院/理学研究科 特任助教)	2023/6/1
素粒子宇宙円卓会議 #9   ニュートリノの飛跡の美しさに魅せられて	佐藤 修(未来材料・システム研究所 特任准教授 / KMI 連携研究者)、KMISCT	2023/6/5
ジェームズ・ウェブ、研究者が語る深宇宙観測の新時代	柏野 大地(高等研究院/理学研究科 特任助教)	2023/6/13
マイクロローで『わざわざ難しいものをつくる』そのココロは？	布施 新一郎(創薬科学研究科 教授)	2023/6/13
名大カフェレポート   深海 9801m、岩石学者が本当に欲しかったもの	道林 克禎(大学院環境学研究科 教授)	2023/6/19
大学 × 大学発ベンチャー × 大手企業で、SDGs 実現へ	堀 克敏(工学研究科 教授)	2023/6/21
子育てしながら研究したかったら、名大おいでよ!	石川 由希(理学研究科 講師)	2023/6/26
食と老化の関係、1ミリの虫で読み解く	野間 健太郎(理学研究科 准教授)	2023/6/29
ナポリの地下事情に「宇宙線イメージング」が好相性。次なるニーズは東海に!?	森島 邦博(理学研究科 准教授)	2023/7/4
〇〇すると黒く見えるインク、どう使う？	竹岡 敬和(工学研究科 准教授)	2023/7/27
続・患者さんに届け! —がん光免疫治療はコレでもっとスグくなる	佐藤 和秀(医学系研究科 特任講師)	2023/8/7
天然ガス活用、「だます」のが名古屋流	荘司 長三(理学研究科 教授)	2023/8/9

# 名大研究フロントライン (ポッドキャスト&note、研究紹介動画)



note は、ポッドキャストで取り上げたテーマを読みものとして配信しています。ポッドキャストではお届けしきれなかった、一歩踏み込んだ内容も掲載しています。

	タイトル	紹介した研究者（名古屋大学）	配信日
	イベントレポート   これがハカセ夫婦の生きる道	宮武 広直（素粒子宇宙起源研究所 准教授）、 南崎 梓（国際広報室 副室長）	2023/8/10
	名大カフェレポート   法学研究者が裁判ドラマをつくるワケ	宮木 康博（法学研究科 教授）	2023/8/23
 	次の緑の革命につながれ！ 植物ホルモン「サイトカイニン」、 40年越しの謎解ける	榊原 均（生命農学研究科 教授）	2023/8/29
 	糖質制限、いいの？悪いの？ J-MICC 研究が検証	田村 高志（医学系研究科 講師）	2023/9/1
 	120年に一度の開花、結実、枯死… 森はどうなる!?	梶村 恒（生命農学研究科 教授）、鈴木 華実（生命 農学研究科 博士後期課程）	2023/9/4
 	素粒子宇宙円卓会議 #10   なぜ“初期”宇宙解明を 目指すのか？	横山 修一郎（素粒子宇宙起源研究所 助教）、 KMISCT	2023/9/11
	現場ニーズが生んだ「感染症マネジメント支援システム」、 もうすぐ始動！	八木 哲也（医学系研究科 教授）、大山 慎太郎 （医学系研究科 / 未来社会創造機構 准教授）、 井口 光孝（医学系研究科 / 医学部附属病院 助教）	2023/9/12
 	魚の食べ過ぎ注意…その理由は七素!?	加藤 昌志（医学系研究科 教授）、香川 匠（医学 系研究科 博士課程）	2023/9/14
	心臓サルコイドーシスという病気を知っていますか？	森本 竜太（医学部附属病院 助教）	2023/9/22
 	提案！ AI に任せっきりじゃない構造ベース創薬	阿部 一啓（細胞生理学センター / 創薬科学研 究科 准教授）	2023/9/29
 	新型コロナウイルス対策に朗報！ 数理モデルでクラスター発 生確率が計算可能に！	岩見 真吾（理学研究科 教授）	2023/10/11
 	「自閉スペクトラム傾向と白黒思考」に学ぶ、誰もが生きや すい社会へのヒント	平井 真洋（情報学研究科 准教授）	2023/10/17
 	「眼トキソプラズマ症」って聞いたことなくても、他人事ではない…!?	山田 和久（医学系研究科 大学院生）	2023/10/23
 	名大カフェレポート   レーザーの新たなミッション「宇宙ゴミを 大気圏再突入させよ！」	佐宗 章弘（工学研究科 教授・副総長）	2023/10/27
 	「過去」の法令データベースがなぜ必要か？	佐野 智也（法学研究科 講師）	2023/11/2
 	神経の病気「球脊髄性筋萎縮症（SBMA）」に、運動 はよいか？	勝野 雅央（医学系研究科 教授）、 蛭薙 智紀（医学部附属病院 医員）	2023/11/8
 	ヨルダン遺跡調査チーム、石器の声を聴いてみたら…	門脇 誠二（博物館／環境学研究科 教授）、 須賀 永帰（環境学研究科 博士後期課程）	2023/11/10
 	触媒の匠、新作は薬の原料をつかむ“投げ縄”！	石原 一彰（工学研究科 教授）	2023/12/12
 	新型コロナなぜ進化？人の行動から探る	岩見 真吾（理学研究科 教授）	2023/12/13





ポッドキャストは、名大の最近の研究の話題を、音声だけでお届けします。



YouTube チャンネル「名大研究フロントライン」を開設し、名古屋大学で日々生み出される研究を、短い動画で世界に発信しています。



ポッドキャスト  
(spotify)



note



Youtube

タイトル	紹介した研究者 (名古屋大学)	配信日
名大カフェレポート   GO 一極寒北極の夜空、飛び立つオーロラ観測ロケット	三好 由純 (宇宙地球環境研究所 統合データサイエンスセンター センター長・教授)	2023/12/14
デンキウナギで遺伝子実験！未知の生命現象を探せ	飯田 敦夫 (生命農学研究科 助教)、榊 晋太郎 (生命農学研究科 博士前期課程)	2023/12/14
リハビリ界初、筋トレ効果をネットワーク解析	飯島 弘貴 (医学部 客員研究者)	2023/12/15
生物が教えてくれる、1000年保証のものづくり	吉田 英一 (博物館 館長/環境学研究科 教授)	2023/12/19
それって本当にグリーン…？ 疑問からうまれた最小サイズの人工金属酵素	石原 一彰 (工学研究科 教授)	2024/1/5
大切なひととウイルスからまもる！あなたの鼻の粘膜抗体	岩見 真吾 (理学研究科 教授)、西山 尚来 (理学研究科 博士後期課程)	2024/1/26
小児がんと卵巣がんの意外な共通点、研究留学で明らかに	宇野 枢 (医学系研究科 博士課程)	2024/2/1
カーボンナノチューブ、低リスク化のキーは…微生物!?	堀 克敏 (工学研究科 教授)	2024/2/6
プラズマ × 農業 = スーパー作物を作りたいわけではありません	石川 健治 (低温プラズマ科学研究センター 教授)、田中 宏昌 (低温プラズマ科学研究センター 教授)	2024/2/13
沖縄のマンゴーを枯らす真犯人を特定	梶村 恒 (生命農学研究科 教授)	2024/2/14
5000個の石器と向き合い、見えてきたホモ・サピエンスの「試行錯誤」	門脇 誠二 (博物館 教授)、渡邊 綾美 (博物館 研究員)	2024/2/20
研究者もなんとかしたい、つらい慢性疼痛	木山 博資 (医学系研究科 教授)	2024/2/22
名大カフェレポート   いつ、どこに意識は宿る？ 脳神経科学に問う、われわれの正体	中村 靖子 (人文学研究科 附属人文知共創センター センター長・教授)、大平 英樹 (情報学研究科 教授)、他	2024/2/25
あなたならどう使いたい？「きっと楽しい」向こうが見える太陽電池	松尾 豊 (工学研究科 教授)、大岩 詩門 (工学研究科 博士前期課程)	2024/3/5
名大カフェレポート   大学院生たちはどう生きるか!？人生で打ち込んできたこと、ありますか？	榊 晋太郎 (生命農学研究科 博士前期課程)、須賀 永帰 (環境学研究科 博士後期課程)、鈴木 華実 (生命農学研究科 博士後期課程)、山ノ内 勇斗 (理学研究科 博士前期課程)、西山 尚来 (理学研究科 博士後期課程)	2024/3/15
作物の生きるチカラを引き出すバイオスティミュラント誕生	竹本 大吾 (生命農学研究科 教授)	2024/3/19

**研究紹介動画 Vol.23 薬でも移植でもない！ 拡張型心筋症サポートネット治療法**

紹介した研究者：秋田 利明 (医学部附属病院 特任教授)

現時点では完治が難しく、薬で苦痛を和らげるか、心臓移植の順番を待つしかない「特発性拡張型心筋症」。心臓に装着して拡張を防ぐサポートネット治療法を開発した心臓外科医の挑戦を紹介しました。(2024/1/10 公開)





# あいちサイエンスフェスティバル2023



市民と専門家との対話イベント

## 研究最前線トーク「高度なオリジナル微生物技術でバイオビジネスを拓く」(オンライン)

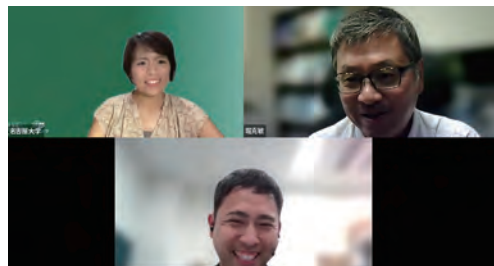
2023年9月28日(木) 18:00～19:00

ゲスト：堀 克敏(名古屋大学大学院工学研究科教授/株式会社フレンドマイクロブ  
取締役会長兼任)、蟹江 純一(株式会社フレンドマイクロブ取締役社長)

方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

微生物の力を油脂分解に活用する可能性や名古屋大学発ベンチャーでの挑戦について、研究とビジネスの両面から解説しました。研究を社会に役立てる意欲的なお話でした。



## 研究最前線トーク「中性子を用いた新しいがん治療 —ホウ素中性子捕捉療法—」

2023年10月7日(土) 13:30～14:30

ゲスト：瓜谷 章(名古屋大学大学院工学研究科 教授)

会場：三井住友銀行 SMBC パーク栄

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

新しいがん治療法「ホウ素中性子捕捉療法」について、わかりやく解説しました。名古屋大学の最新技術も紹介され、これからの研究と治療の進展が期待されるお話でした。



## 研究最前線トーク「難治性皮膚疾患に挑む！—皮膚病の原因と最新治療法とは？—」(オンライン)

2023年10月11日(水) 19:00～20:00

ゲスト：厚労科研「稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究」班(研究代表者：  
秋山 真志(名古屋大学大学院医学系研究科 教授))

方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

昨年に続き、難治性皮膚疾患の原因や最新治療法について3大学の研究者が解説しました。発症メカニズムが解明されていないなど、治療の現状や課題に驚く感想が寄せられました。



## 研究最前線トーク「電波で宇宙の天気を探る」(オンライン)

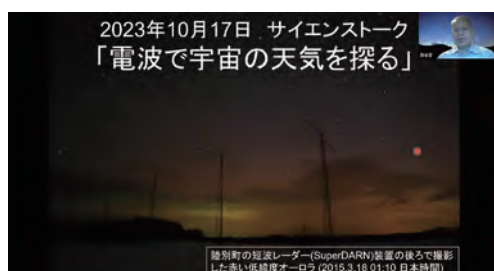
2023年10月17日(火) 19:00～20:00

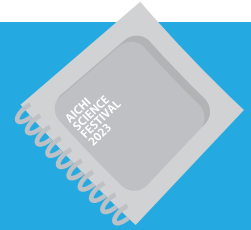
ゲスト：西谷 望(名古屋大学宇宙地球環境研究所 准教授)

方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

短波レーダーによる電離圏の観測でわかる様々な現象について解説しました。地震や噴火が地球のまわりの電磁環境に影響を与えるなど、新しい発見がたくさんありました。





あいちサイエンスフェスティバルでは、サイエンストークを開催しています。  
 はば広くサイエンスやものづくりの話題を取り上げた専門家との交流イベントです。  
 対象：高校生～一般

### 図書館サイエンス夜話 第一夜「くすりをつくる」

2023年10月27日（金）18:30～19:45  
 ゲスト：横島 聡（名古屋大学大学院創薬科学研究科 教授）  
 会場：名古屋市鶴舞中央図書館  
 主催：名古屋市鶴舞中央図書館  
 共催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

ここ最近の医薬品の多様化や、最新の創薬の様子について、親しみやすいたとえなどを用いながらわかりやすくお話いただきました。



### 図書館サイエンス夜話 第二夜「心臓外科医が考えた、拡張型心筋症の新たなテラーメイド治療法」

2023年11月1日（水）18:30～19:45  
 ゲスト：秋田 利明（名古屋大学医学部附属病院 特任教授）  
 会場：名古屋市鶴舞中央図書館  
 主催：名古屋市鶴舞中央図書館  
 共催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

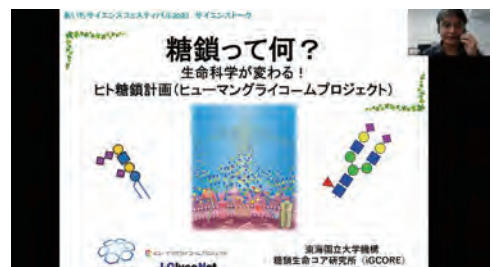
ネットを心臓にかぶせて拡張を止める治療法など、心臓の機能を改善する治療法のあれこれについて紹介いただきました。



### 第3回 iGCORE サイエンスカフェ 糖鎖って何？ 「～生命科学が変わる！ヒト糖鎖計画（ヒューマン glyco-m プロジェクト）～」(オンライン)

2023年11月17日（金）19:00～20:00  
 ゲスト：郷 慎司（東海国立大学機構 糖鎖生命コア研究所 特任准教授）  
 方法：オンライン（Zoom ウェビナー）  
 主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

糖鎖とは何かや、その未知な情報を解明する研究の意義などについて、とてもわかりやすく解説しました。今後の研究プロジェクトの進展を期待させるお話でした。



# あいちサイエンスフェスティバル2023

## ■夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2023

- ・会期：2023年7月21日（金）～8月31日（木）
- ・主催：名古屋大学 ・共催：愛知県
- ・協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

## ■あいちサイエンスフェスティバル 2023

- ・会期：2023年9月23日（土・祝）～11月27日（月）
- ・主催：名古屋大学 ・共催：愛知県、蒲郡市教育委員会
- ・協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク



## 「これがハカセの生きる道」（名古屋大学オープンキャンパス企画）

2023年8月8日（火）16:00～17:30

講師：宮武 広直（名古屋大学素粒子宇宙起源研究所 准教授）、  
南崎 梓（名古屋大学国際広報室副室長・グローバルマルチキャンパス  
推進機構 特任助教）

会場：Café Blanc（名古屋大学内）

主催：名古屋大学 ジェンダー・リサーチ・ライブラリ、  
名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

同じ「物理学博士」から、全く違うキャリアを歩む夫婦、それぞれの歩みを紹介。  
「博士とったら人生後悔」にモヤっとする若い方を中心に、活発なお悩み相談  
が繰り広げられました。



## 「集まれ！未来の科学者たち」

2023年9月24日（日）10:00～16:30

講師：名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所、サイエンスワールド、  
中部大学パーソナルコンピュータ研究会

会場：イオンモール ナゴヤドーム前店

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

愛知県協力により毎年イオンで開催する恒例イベント。今年はプログラミング体  
験会、サイエンスワールドショー、名大生と分子で遊ぶカードゲームなどを催し、  
とても賑わいました。



## 「2023年ノーベル賞からみる最新研究講演会」

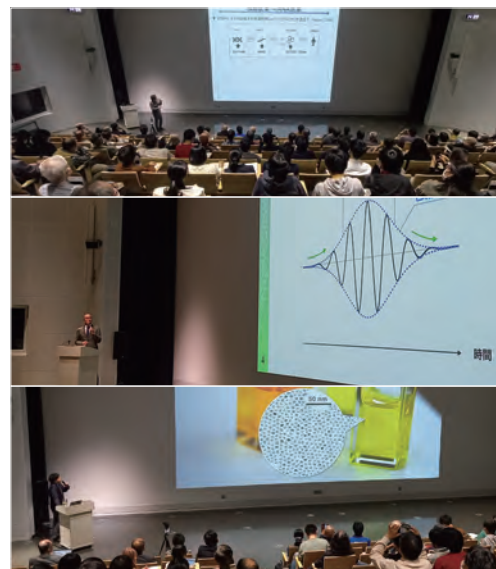
2023年12月9日（土）14:00～16:30

講師：阿部 洋（名古屋大学大学院理学研究科 教授）、  
菱川 明栄（名古屋大学大学院理学研究科 教授）、  
亀山 達矢（名古屋大学大学院工学研究科 准教授）

会場：名古屋市科学館 生命館地下2階サイエンスホール

主催：愛知県、名古屋市、名古屋大学

2023年ノーベル賞を受賞した科学3賞の解説と最新研究を紹介する講演  
会を、愛知県・名古屋市・名古屋大学の共催で開催しました。各受賞研  
究分野に精通した名古屋大学の研究者らが、各研究の概要と受賞者の貢献  
を解説した後、講演者自身の最新研究についても紹介しました。参加者から  
熱心な質問も寄せられ、ノーベル賞への理解を深めるとともに、今後の研究や  
社会への応用にも期待が膨らむ講演会となりました。



# あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2023

主催：豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

会場：豊橋市自然史博物館 講堂

## 「地層はタイムカプセル」

2023年11月18日（土）14:30～16:00

講師：高橋 聡（名古屋大学大学院環境学研究科 准教授）

ペルム紀末の大量絶滅についての最新の研究内容について紹介してもらったと同時に、実際の地層の中から過去の地球のようすを読み取る方法について学びました。



会場：豊橋市視聴覚教育センター・地下資源館

## 「小さな植物が地球の温暖化を防ぐかもしれない」

2023年11月25日（土）13:30～14:30

講師：神田 英輝（名古屋大学大学院工学研究科 助教）

地球温暖化の原因や微細藻類が注目される理由をわかりやすく解説した後、現在研究中の画期的な油脂抽出方法についても紹介しました。飛び入り参加の高校生も熱心に質問していました。



## 「伊豆・小笠原海溝最深部への潜航」

2023年11月19日（日）14:30～16:00

講師：道林 克禎（名古屋大学大学院環境学研究科 教授）

伊豆・小笠原海溝最深部へ実際に潜航した時の様子をわかりやすく紹介してもらいました。また、深海底の地質調査から分かった日本列島の初期の過程など最新の研究成果を学びました。



## 「オーロラの科学」

2024年1月7日（日）13:30～14:30

講師：塩川 和夫（名古屋大学宇宙地球環境研究所 所長 / 教授）

オーロラの特徴やしぐみについて、最新のオーロラ事情にも触れながらわかりやすく紹介しました。お子さん連れのご家族が多い中、たくさん質問が出るほど盛り上がった講座となりました。



## 「巨大翼竜は飛べたのか？」

2023年11月25日（土）14:30～16:00

講師：後藤 佑介（名古屋大学大学院環境学研究科 准教授）

バイオロギングによるアホウドリなどの原生鳥類と絶滅した翼竜の飛び方を比較することで分かった巨大翼竜の飛行能力について最新の研究成果を学びました。



# 名古屋大学 オープンレクチャー 2024

名古屋大学の研究者が、主に高校生を対象に、少人数の講義スタイルで、研究をわかりやすくお話ししました。

対 象：高校生（高専生、中学生、大学院進学検討中の大学生も可）  
会 場：名古屋大学 東山キャンパス  
(理学南館 坂田・平田ホール／各講義室)

開催日：2024年3月20日（水・祝）  
13:30～13:50 名古屋大学紹介  
14:00～15:30 公開講義

## 公開講義一覧：

- ・「がんを免疫で治すはなし」  
講師：高橋 義行（大学院医学系研究科 教授／医学部 附属病院小児がん治療センター センター長）
- ・「こころの病気にかかわるゲノムバリエント（変異）のはなし」  
講師：久島 周（医学部附属病院 病院講師）
- ・「太陽風エネルギーが地球大気に及ぼす影響のはなし」  
講師：大山 伸一郎（宇宙地球環境研究所 講師）
- ・「分子を並べてつくった物質の電子の動きをみるはなし」  
講師：水津 理恵（大学院理学研究科 特任助教）



## 名古屋大学紹介

去年に続き今年も東山キャンパスで開催し、中高生135名が参加しました。佐宗章弘教授(学術研究・産学官連携推進本部長)の冒頭挨拶に始まり、名古屋大学紹介を行いました。大学での学びの醍醐味や、名大の研究や教育の特色、学生生活について写真を使って説明しました。



## 「がんを免疫で治すはなし」

講師：高橋 義行（名古屋大学大学院医学系研究科 教授／  
医学部附属病院小児がん治療センター センター長）

がんの免疫療法として、高橋教授が開発を進める CAR-T 細胞療法についてお話ししました。海外の研究機関との共同研究や、企業との連携を通じて、一人でも多くの患者さんを治療するための取組みが詳しく紹介しました。海外留学などを通じ、さまざまな人々とのつながりを持つことの重要性にも触れました。



## 「こころの病気にかかわるゲノムバリエント（変異）のはなし」

講師：久島 周（名古屋大学医学部附属病院 病院講師）

遺伝子のほんの少しの違いが生み出すこころの病気についてお話ししました。こころの病気は脳に原因がある一方、患者さんの脳を切り出して調べることは簡単にできません。ゲノム情報の解読や iPS 細胞を使った実験を通じて病気を研究していく方法も紹介しました。会場からは、自分や家族の心の悩みについての質問もありました。



## 「太陽風エネルギーが地球大気に及ぼす影響のはなし」

講師：大山 伸一郎（名古屋大学宇宙地球環境研究所 講師）

太陽フレアが地球に及ぼす影響について、数多くの観測映像を盛り込んだ講義を行いました。観測することの大切さや、得られた情報を見て何に気づき、何を考えるかといった、研究者の基本的なスキルについて、クイズを含めた実践形式で学びました。好きなことに対するパッションを大事にしようというメッセージが印象的でした。



## 「分子を並べてつくった物質の電子の動きをみるはなし」

講師：水津 理恵（名古屋大学大学院理学研究科 特任助教）

電子の動きを観察し、機能性ある結晶構造を組んでいく基礎研究についてお話ししました。電池や導電体などの新材料を生み出す土台をつくりあげる苦労や楽しさを学びました。講義後は野依記念物質科学研究館に移動し、実験装置を紹介する見学ツアーも行い、研究の現場も紹介しました。



## <松坂屋小学校> キッズサイエンス@サカエ

主催：CommonS, サカエ大学（運営：松坂屋名古屋店）  
 協力：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部、  
 あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク、他

～未来の科学者をはぐむために～



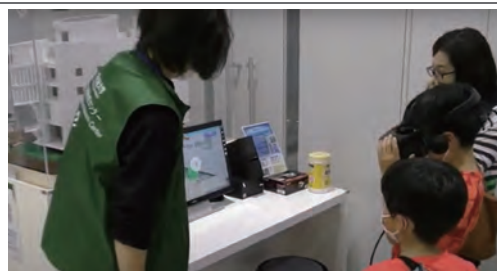
### 第 22 回「南海トラフ地震から身を守る もしもにそなえて今できること」

2023年5月20日（土）10:00～12:00

講師：小沢 裕治（名古屋大学 減災連携研究センター 特任准教授）、  
 幸山 寛和（名古屋大学 減災連携研究センター 特任助教）

会場：名古屋大学減災館 1F（減災ホール）

名古屋大学減災館で、先端技術を駆使した「備え」を学ぶツアーと、普段からできる防災について学ぶワークショップを行いました。南海トラフ巨大地震への意識が一層高まりました。



### 第 23 回「アンモナイトをさがそう！」

2023年7月23日（日）①10:30～②13:00～

講師：高井 芙樹（蒲郡市生命の海科学館 学芸員）

会場：松坂屋名古屋店本館 5階キッズルーム

アンモナイトについての解説を聞いた後、砂利の中からアンモナイトの化石を探して、ルーペで観察しました。最後はお気に入りの化石を選んで持ち帰ることができました。



### 第 24 回「海洋プラスチックで万華鏡づくり」

2023年9月30日（土）①11:00～②13:00～③14:30～

講師：サイエンスワールド（岐阜県先端科学技術体験センター）

会場：松坂屋名古屋店本館 5階キッズルーム

海洋プラスチックが海の生き物に与える影響について学んだ後、海で拾った小さなプラスチックを材料に万華鏡を工作しました。万華鏡をのぞくたびに海の問題を思い出すことでしょう。



### 第 25 回「出張！名大博物館 in 松坂屋」

2023年11月5日（日）13:00～16:00

講師：名古屋大学博物館 学生運営スタッフ団体 MusaForum（ムーサ・フォルム）

会場：松坂屋名古屋店本館 5階フリースペース

名古屋大学博物館の石器、球状コンクリーション、鶏のはくせいなどを店内に展示して、関連するワークショップも体験しました。お買い物ついでにたくさんの家族が楽しんでいました。



### 第 26 回「地元産フルーツのジャムを食べてみよう」

2024年1月6日（土）①13:00～②14:15～③15:30～

講師：徳田 博美（名古屋大学大学院生命農学研究科 教授）  
 青山 明裕（株式会社ブルーテック 代表取締役）

会場：松坂屋名古屋店南館 2階 KIKIYOCOCHO イベントスペース

果物生産についてのお話やジャムの試食クイズを通して、地産地消や食品ロスについて考えました。最後には食品ロスをなくすために自分ができることをミカン型のふせんに書いて共有しました。



### 第 27 回「ギャラクシー消臭剤をつくって災害時のトイレについて学ぼう」

2024年3月31日（日）①11:00～②13:00～③14:30～

講師：名古屋市港防災センター

会場：松坂屋名古屋店本館 5階キッズルーム





## 名古屋大学 × 松坂屋名古屋店 包括連携コラム 名大ハカセからの「みらいメッセージ」

～暮らしの中でできる「持続可能な未来社会」に向けたアクションについてのコラム～

### 第1回 南海トラフ地震から身を守る もしもに備えて今できること

COLUMN | “自分ごと” で考える災害対策～SDGs 11 住み続けられるまちづくりを～

先生：小沢 裕治（名古屋大学減災連携研究センター 特任准教授）、

幸山 寛和（名古屋大学減災連携研究センター 特任助教）

（2023.07.14 公開）



### 第2回 「アニマルカリモク」家具の端材で動物をつくろう

CROSS TALK | 「木」からはじまる環境保護

～SDGs 12 つくる責任 つかう責任・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう～

先生：山崎 真理子（名古屋大学大学院生命農学研究科 教授）、

山出 美弥（名古屋大学大学院環境学研究科 助教）、

カリモク家具株式会社／カリモク皆栄株式会社／知多カリモク株式会社

（2023.08.18 公開）



### 第3回 海洋プラスチックで万華鏡づくり

COLUMN | “海の生き物の生態系と海洋プラスチックの関係とは？

～SDGs 14 海の豊かさを守ろう～

先生：自見 直人（名古屋大学大学院理学研究科附属臨海実験所 講師）

（2023.12.05 公開）



### 第4回 地元産フルーツのジャムを食べてみよう

COLUMN | みかんの活用に見るフードロス対策とこれからの農業

～SDGs 12 つくる責任 つかう責任・SDGs 2 飢餓をゼロに～

先生：徳田 博美（名古屋大学大学院生命農学研究科 教授）

（2024.03. 公開予定）



# Tongali

Tongali は、東海地域の大学・研究機関が取り組むアントレプレナーシップ教育と起業支援活動のためのプラットフォームの総称です。メンタリング、活動拠点の提供、活動資金の援助、起業に関する情報やノウハウを得るためのイベントの開催など多岐に亘り、いわゆる起業家教育のみならず、準備から起業後の事業展開までをシームレスにサポートします。

## 第7回 Tongali シンポジウム

日時：2023年4月22日（土）13:00-17:00

会場：名古屋大学 理学南館 坂田・平田ホール（会場参加／オンライン参加 選択可）

2023年度初のイベントとして『Tongali シンポジウム』を開催しました。友達作り、課外活動など、たくさんの“やりたいこと”のために、先輩起業家や Tongali に参加している仲間話を聞いて、起業に限らず、それぞれのフィールドで夢の実現に向けて挑戦するのに必要なイノベティブなマインドや姿勢を考える機会となりました。



## そら Lab@名古屋大学【高校生対象】

日時：2023年5月27日（土）より3回

会場：名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス Idea Stoa

キックオフでは、生物にとって超過酷な環境である高度 30,000 m、-（マイナス）70℃、ほぼ 0 気圧の「成層圏」に、軽気球を使って到達できるのであれば何を実験してみよう？と高校生がアイデアを出し、コンペティションで「事業性」「独創性」「実現性」3つの観点から選出したアイデアを、専門チームの協力のもと実装し、2023年9月29日（金）に軽気球が打ち上げられました。コンペティションの時はまだプレゼンテーション・文字だった提案が実際に地球を背景にして宇宙で形になり、高校生にとって新しい好奇心や探求心につながり、また次の探求につながっていくきっかけになりました。



- 2023年5月27日（土）13:00-16:00 キックオフ
- 2023年7月17日（土）13:00-16:00 コンペティション
- 2023年10月6日（金）17:00-19:30 報告会





## Tongali -Junior コンペティション【高校生対象】

日時：2023年7月29日（土）より3回

会場：名古屋大学教育学部附属中・高等学校（7/29 会場参加／オンライン参加 選択可）、  
愛知県美浜自然の家（8/8～9）、ナゴヤイノベーションズガレージ（8/10）

名古屋大学教育学部附属中・高等学校と Tongali が連携し、高校生に起業に関する興味と能力を高める機会を提供しました。鉄道と連携した街づくりをテーマに、高校生が身近な課題を発見し、その持続可能な解決方法（ビジネス）を提案し、優れたビジネスプランを提案したチームには賞が贈られました。

2023年7月29日（土）13:00-17:00	Step 1：社会課題の発見と解決方法の着想
2023年8月8日（火）～9日（水）	Step 2：仮説検証とビジネスプレゼンテーション
2023年8月10日（木）13:00-15:00	Step 3：Tongali-Junior コンペティション

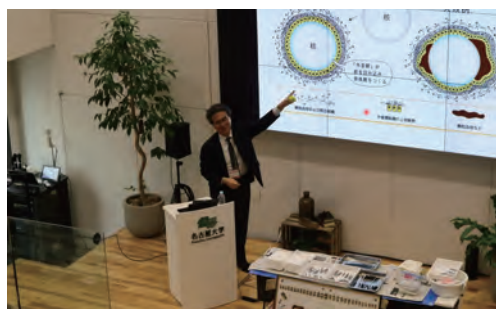


## 真珠から学ぼう【主に中学生対象】

日時：2023年12月16日（土）1回目▶10:00-12:00 2回目▶14:00-16:00

場所：名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス Idea Stoa

真珠をつくるアコヤガイと、世界初の真珠養殖にチャレンジした「御木本幸吉」を知り、起業家の考え方や行動を学ぶワークショップを開催しました。ワークショップでは、アコヤガイの解剖を体験し、取り出した真珠を使ったアクセサリーを制作しました。



Tongali



## アイデアピッチコンテスト 2023

日時：2023年11月11日（土）12:00-18:30

会場：なごのキャンパス 体育館

自らが温めているアイデアや解決したい課題などを発表し、実現を目指すマインドの醸成を目的としたコンテストを開催しました。Tongali 賞（優秀賞）を獲得したチームは、アイデア実現のサポートを受け、確度の高い事業計画に仕上げることが目指します。

予選会（10/28 開催）を通過した17チームが参加し、5名の有識者による審査の結果、5チームにTongali 賞を授与しました。また、17チームに協賛企業29社からサポーター賞が贈られました。



## ビジネスプランコンテスト 2023

日時：2023年6月17日（土）12:30-19:00

会場：デザインホール

※ 審査員・登壇者は会場に参集、聴講者は会場参加/オンライン聴講を選択

優れた技術やビジネスシーズ、アイデアを元とした起業プランを発表するコンテストを開催しました。Tongali 賞（優秀賞）を獲得したチームは、活動支援金および事業化支援プログラムを受け、出資およびアクセラレートプログラム等のオファー獲得を目指します。

予選会（6/3 開催）を通過した16チームが参加し、5名の有識者による審査の結果、5チームにTongali 賞を授与しました。また、11チームに協賛企業16社からサポーター賞が贈られました。





## Tongali スクール 2023

日時：2023年7月1日（土）より11回

会場：名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス 大会議室（7/1・2、9/28、12/9・10）

名古屋大学 ES 総合館 ES 会議室（9/21）、ナゴヤイノベーターズガレージ ANNEX（10/7～9、12/16、1/13）

急速に変化する社会の中で、アイデアや技術を駆使し、新たな未来をデザインすることにチャレンジする人材を育成するためのアントレプレナーシップ教育を体系的に学ぶ場を提供しました。

### 東南アジアの社会課題解決アイデア創出ワークショップ

国連の持続可能な開発目標（UN-SDGs）に関連するテーマを中心とする社会課題からビジネスアイデアを考えだす基本的なプロセスをシンガポールとオンラインでつなぎ実際に体験し、ワークショップ内で形成したチームごとに、インドネシアの社会課題を捉え、アイデアを考えだす力を醸成しました。



2023年7月1日（土）9:00-17:00 社会課題や SDGs の学びからアイデアを生み出すワーク

2023年7月2日（日）9:00-17:00 顧客の検証等アイデアブラッシュアップ後、アイデア発表

※本ワークショップ後、選抜チームが2023年9月1日（金）～8日（金）にインドネシアでアイデア検証、ピッチ交流等を行いました。

### EntreCamp Finland

第1部では、自分たちがどんな関心、好奇心を持っているのかという、事業を生み出す上で原点となる自らとの対話を行い、チームアップを行いました。第2部では、デザイン思考を用いた事業アイデアを生み出す過程を体験し、発表を行いました。

第1部

2023年9月21日（木）10:00-17:00 事業を創る哲学・問いの深堀り

2023年9月28日（木）14:00-21:00 課題のストーリーを描く、チームアップ

第2部

2023年10月7日（土）10:00-16:00 デザイン思考概要・フィールドワーク

2023年10月8日（日）10:00-16:00 アイデアエーション・プロトタイプング

2023年10月9日（月・祝）10:00-16:00 グループワーク・発表

※本研修後、選抜チームが2023年11月28日（火）～12月3日（日）にイノベーションの発信地として知られているフィンランドで、世界最大級スタートアップイベント「Slush」への参加、ピッチ交流、アイデア検証等を行いました。



### EntreCamp JAPAN

アイデアからビジネスプランへの昇華、アイデアの実現の仕方が分からないといった悩みを持つ学生を対象に、ワークショップを開講しました。

2023年12月9日（土）10:00-18:00

2023年12月10日（土）10:00-18:00

2023年12月16日（土）11:00-16:00

2024年1月13日（土）13:00-17:00

※本研修後、希望者は2024年3月14日（木）に国内のベンチャーキャピタルとアクセラレータを訪問し、ピッチを行いました。



## 国際産学連携セミナー、シンポジウム等 展示会への出展実績

国際産学連携セミナー（会場 or 方法）	開催日	内容
NU Tech Roundtable 2024 Sustainable AgBio Tech (North Carolina Biotechnology Center : 米国)	2024年 1月25日(木)	NU Tech Technology Roundtable Series は、名古屋大学 (NU) とその米国技術移転事務所である Technology Partnership of Nagoya University, Inc. (NU Tech) が、RTP の名門大学と共同で行っている技術マーケティング活動。2010年に第1回目のラウンドテーブルが開催されました。ラウンドテーブル2024は14回目の開催で、今回のテーマは AgBio Tech に焦点を当て、名大教員や現地大学、現地企業の関係者が一同に会し研究紹介や議論などが行われた。
シンポジウム・セミナー等（会場 or 方法）	開催日	内容
第1回カーボンニュートラル共創シンポジウム・ プレイベント (名古屋大学：愛知県 / オンライン)	2023年 7月5日(水) 7月6日(木)	大学等コアリションに関連したキャンパスゼロカーボン化、地域の脱炭素化に関する講演およびパネルディスカッション、循環型社会に向けた取組紹介等を行った。
第1回カーボンニュートラル共創シンポジウム (ナゴヤイノベーションズガレージ：愛知県 / オンライン)	7月7日(金)	循環型社会に向けた大学の研究及び企業の取組紹介及びポスターセッションを行った。
名古屋大学発！先進的な取り組み事例 × 展望 vol.4 ～名古屋大学 環境医学研究所 異分野融合による疾患の理解・克服に向けたトランスレーショナルリサーチ～ (オンライン)	9月12日(火)	名古屋大学環境医学研究所に所属する神経科学、内分泌・代謝学、ゲノム科学のエキスパート3名による、疾患の理解・克服を見据えた先端研究を紹介した。参加者 195名。
モビリティエネルギーの共同開発に係わる合同説明会 (株式会社三菱 UFJ 銀行 名古屋ビル：愛知県)	10月5日(木)	『温めると縮むセラミック微粒子による熱膨張制御』 名古屋大学 大学院工学研究科 応用物理学専攻 竹中 康司教授
カーボンニュートラル推進検討会 (名古屋大学：愛知県)	12月12日(火)	カーボンニュートラルに関する大学及び企業の取組紹介およびネットワークを行った。
名古屋大学発！先進的な取り組み事例 × 展望 vol.5 ～名古屋大学創薬科学研究科の最先端技術研究と社会実装化への取り組み～ (オンライン)	12月13日(水)	名古屋大学創薬科学研究科のタンパク質構造解析から名大発スタートアップの技術紹介まで、基礎と応用にまたがる幅広い研究を紹介した。参加者 130名。
名古屋大学 COI-NEXT 地域を次世代につなぐ マイモビリティ共創拠点シンポジウム 「地域モビリティサービスの維持・発展は可能か？」 (名古屋大学：愛知県 / オンライン)	12月15日(金)	名古屋大学 COI-NEXT の取組みの成果について森川高行プロジェクトリーダー（名古屋大学教授）から報告するとともに、「SIP 第3期 / スマートモビリティプラットフォームの構築」の石田東生プログラムディレクター（筑波大学名誉教授・学長特別補佐）による基調講演や研究者らによるパネルディスカッションを行った。

## 国際産学連携セミナー、シンポジウム等 展示会への出展実績

シンポジウム・セミナー等（会場 or 方法）	開催日	
産学官連携地域活性化ワークショップ (名古屋大学：愛知県)	2024年 2月15日(木)	医学系研究科主催、C-REX、奥三河ミライバレーコンソーシアム協賛にて、健康や地域活性化をキーワードとしてワークショップを実施した。今後の連携活動に活かしていくべく、産学官で計52名、7つの自治体が参加し、産学官連携に関連する各自治体の取り組み事例や課題を共有、議論を行った。
名古屋大学発、東海地区発メディカルスタートアップ ショーケース (GLOBAL LIFESCIENCE HUB:東京都/オンライン)	3月27日(水)	名古屋大学および東海地区発のスタートアップ5社による紹介を行った。
展示会イベント名（会場or方法）	開催日	
BioJapan2023 (パシフィコ横浜：神奈川県)	2023年 10月11日(水) ～10月13日(金)	医学系研究科・生命農学研究科各1名および工学研究科2名の教員の研究についてポスター展示・プレゼンテーション、企業との面談を行った。



## 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 NIC 3F 311  
Tel:052-747-6527 Fax:052-788-6002 E-mail:outreach@aip.nagoya-u.ac.jp  
<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/>